愛國婦人會機關

愛國婦人

每月五日二十日發行

（定價）一枚金六錢　三ヶ月分金拾八錢　半年分金三拾六錢　壹ヶ年分金七拾貳錢　全國無遞送料　郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增

廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會內　愛國婦人會發行所

發行兼印刷人　山澤俊夫

編輯人　手島益雄

電話番町從千三百三十番

◎本號附錄には名譽會員伏見若宮妃經子殿下御肖像を添ふ

社説

◎最も嘆ずべき戰爭の影響

戰爭の勝利は、其四分の三まで、將卒の精神に原因す。物質的の原因は、僅に其四分の一に過ず。」とは、奈破翁一世が、度々の戰爭に於て、經驗した上の言である。扨精神の練磨は、何に由て遂ぐべきであるか、言ふまでもなく、教育に由て練磨するのである。

千八百七十年、普佛戰爭に於て、普露西は大捷を奏し、遂に佛帝を虜にして城下の盟を爲さしめ、賠償として、アルサス、ローレンの二州を割かしめ、五十億法を拂はしめ、實に世界の戰史中其例稀なる大勝利を博したのであッた。當時其大勝利者である普將モルトケは、國民より非常な讃辭を以て其偉功を感謝されたが、モルトケ將軍は人々に向ッて「此度の戰勝は全く國民教育の普及發達に基くので、吾功ではない、小學教師の功である。」といッた事は、世に名高い話であるが、實に教育は國力の根基であッて、斯様に効力の著しいものである。

今日の日露戰爭に於ても、彼我の國民教育の進否は、勝敗の上に大影響を及ぼすであらう。露國は日本に三倍する程の人口を有しながら、就學兒童の數に至りては日本よりも少數である。斯様に國民教育普及發達の上に、日本が露國よりも大に優ッて居る點に於て、今後引續く戰爭中、必ず結果の著しきものがあると信じて、吾人は大に意を強うして居るのである。

然るに昨今、戰爭の影響として、日本の教育界に稍不振の有様を呈したといふ事を耳にするに至りたるは、誠に歎ずべき現象である。聞く所によれば、今年の新學期に於て、小學校の入學者が減じたさうである。尤も昨年に比して減じたといふ譯ではないが、年々入學の割合が増加して來て居るのに、今年は昨年より餘り増加しないといふ事である。殊に高等小學に進む者が増加しない、殊に進んで中等教育に至ッては、昨年よりも入學者が少ない、殊に女學校が甚しいと聞く。斯様な諸學校の不况は、種々の事情に由る事であらうが、或は極端なる儉約が、其中の多數の原因を爲しては居るまいか、果して然らば大なる心得違ひである。心ある人々は、深く注意して、是等の誤謬に陷れるものを懇諭して、入學を奨勵するなど、救濟の方を講ぜねばならぬ。

戰勝後に於ける日本國民は、其任がいよいよ重大となるのであるから、十分に教育を授けて、立派に働ける様に、其身に勢力を貯へしめねばならぬ。國民の身に働くべき勢力を具へしめざる時は、一個人としても世に立つ事の出來ぬ不具の人で終らねばならぬのである。可憐なる子女を不具で終らしむるは、最も無慈悲なる親といふべきである。余輩は國力の根柢を培養する所の大切なる教育の不振と聞いては慨嘆措く能はざるものである、忠愛なる本會々員方と共に、是れが奨勵の方を講ぜん事を、熱心に希望するものである。

◎岩崎家の家庭

理事　子爵夫人　谷くま子

○岩崎母堂　日本一の財產家岩崎家の家庭については世間に多く聞えて居りませんが世の鑑ともなる事が多いと存じますから私の知ッて居る丈の事を御話ししませうと思ひます岩崎家と私の家とは共に土佐の國の出でありますが私が岩崎さんと別懇に致す様になりましたのは明治十年の西南戰爭以後の事でございます懇意になッて交際して見ると岩崎母堂の行ひは實に感服したものでして岩崎家が一代の中に斯様に富豪になられたのは岩崎兄弟彌太郎彌之助兩氏の力でありますが全く賢き母堂の教訓に原因するものと思ひます元來岩崎家は土佐國安藝郡の郷士でありましたが僅の間に日本一の富豪となられたのでありますから其大財產家の母堂は如何なる榮耀榮華も究めるとの出來る身分になられたのであります然るに賢明なる母堂は決して昔を忘れないで以て衣服は常に木綿を用ゐられ決して絹物を身に纏はれなかッたさうです數年前八十幾歳の高齢を以て逝去されましたが其病臥中に於ても家の人がよき衣服を與へますと、寢て居る身にはよき衣服は不必要であると云ふて退けられ夜着なども死なれる二日前に漸く絹の夜具を掛け替へたと云ふ程であります又平生襦袢の袖は木綿に形を置いたるものを用ゐられ之を購ふにも只入用な丈け切地で買はれ決して反で買くといふ事はありません不必要なものは假令ひ僅なものと雖も買はぬと云ふ主義であります又年を取ッて後も家の爲世の爲になる事に働かれ或は機を織り又は麻を紡いで蚊帳を作りこれを澤山の家族に分配するやうな事を以て唯一の樂みとして居られました其他最も些少な出費の事にまで深く注意されまして女中共に嚴令して醬油をものにかけた其餘りを決して捨てさせない掟になッて居るさうであります。

京都支部副長　三井雅子筆

○故岩崎彌太郎氏未亡人　前申した母堂の嫁御即ち彌太郎氏の未亡人も母堂の教訓を受けられて彌太郎氏を助けて偉大なる事業を大成せしめた賢夫人であります愛國婦人の第五十一號に金參百圓寄附男爵母堂岩崎喜世子と出て居るのを見た人は岩崎家が三百圓位出すのは素より當然の事で寧ろ少いではないかと云ふ人もありませう然し金額こそ三百圓でも此三百圓には千万金にも價ひする深い教訓が含まれて居るのでありますこのお金は私が取次だのでありますが私は元來寄附の勸誘など致した事はありません私の心に寄附を勸誘する事を好みません何故かなれば寄附は人の心から進んで出すのが本旨でありまして人の勸誘によッて始めて出すのは間違ッて居ると思ふからであります然し此際ではあり本會の爲でありますから私が岩崎さんに寄りまして本會の事を申しました處が非常に喜ばれまして申されますには自分が十三年間貯蓄した金があります此金は私の家の內で捨てると云ふものを捨てさせないで之を拾ひ集めて置いてそれを貯積したのでありますが茲に三百圓あります此金は眞に自分が作ッた金で岩崎家の金庫より出す金ではありません今日のやうな場合に當り何處かに献納しやうと思ッて貯へた金であります今日はよい御話しを伺ッて左様な結構な會へ寄附する事を得ますのは實に私の本懐とする處であります何分にもよろしく御取計を願ひますと申して出されました日本一の富豪岩崎家の奧にもそれ丈細密な注意と儉約とが行はれるかと思ひまして今更ながら私は感服致しました

○岩崎男爵夫人　今の男爵岩崎久彌氏夫人岩崎寧子の君は保科と云ふ子爵家から嫁がれたのでありますが當時私共始め多くの人々は大名の令嬢を貰ッてはこれまでのやうな岩崎の家風を傳へる事はむづかしからうと思ひました然るに中々さうでありませんすッかり岩崎家の質素な家風に染ッて仕舞て立派な奧様になられました此節は私共が企てゝ居ります報國婦人會に出られて兵士のシャツ類を裁縫して居られますが狭い汚い室で而も塵埃の多い中に坐ッて御辨當を使ッて居られますから私が斯様な處で召上るのは實に御氣の毒ですと申しましたらいや私は學校時代に學校で御辨當をいたゞきつけて居りますから少しも不自由は感じませんと申されまして其食事も私共一同と同様に只海苔巻を食べて以て報國婦人會の爲に盡力して居られますこれを見ても其平生の行ひが察しやられて床しう思ひます

出征軍人をおくる　評議員　有島幸子

武士のいさみ立つる時は今
國と君とに身をばさゝげて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎儉約の意義を誤解する勿れ

農商務次官　和田彥次郎

左は記者に對し特に談話せられし要領なり文字の責は記者にあり

凡そ何事でも極端に走ると云ふ事は忌むべき事柄であるが近來世間に稱ふる儉約說も餘り極端になつた爲に弊害が生じ農工商の事業に對し打撃を受け生産事業が不振の狀況に陷るの傾向が生じて來たのは頗る憂ふべき事である儉約說も此際絹物を身に纏はぬやうにせよと注意する位ならばなほ可なりであるが或る地方では新らしい下駄一足を購ふにすら村長の檢印を求めねばならぬとか三度の食は二度に減ぜよとか菜は麁末なものを食へ燈火も少くせよ肥料も多く用ゐるなと云ふ樣な議論さへ行はれて居るやうであるが何も戰爭が始まつたからとて三度の食を二度に減じないでもよい私は三度の食は四度も食ッてそして夫れだけ餘計に働かねばならぬと思ふ假令ば夜業などをして職業を勵むと云ふと夜間に又食事をせねばならぬかも知れないが夫れだけ平生より餘計に仕事をして澤山に生産物を作らねばならぬ又燈火でも從前五分心のものは卷心の太いのを用ゐ煌々と照して大に夜業でも勉めねばならぬが燈火を儉約するからと云て寢て仕舞た日には何等の生産も出來ない譯である又工場に於て支拂ふ賃金を是迄十五錢出したものを十三錢に減じて夫れで儉約と云ふものではない十五錢の賃金は二十錢出しても多くの製作物をなさしめ是迄五十錢方丈け作ッたものは八十錢方も一圓方も作らねばならぬ又農家に肥料を買ふ額を減じたからとて夫れて儉約ではない肥料は農家の生命とも云ふべきものであるから從來より多く買ひ込んでも是迄一石の米は二石も作り上げるやうにせねばならぬ又鹿兒島縣愛媛縣などでは戰勝紀念殖林とて村方一同申合せ山に木を植る事を計ッて居り又或る縣では村一同夜業して網を作ッて國庫債券に應ずる處もある斯樣にしてこそ始めて一國の富みを增し戰爭が永く續いても其財源は長く枯れる事はないのである今日の如き非觀的な儉約說を主張しては其反動として種々の事業は廢せられ貧民は益々增加し頗る憂ふ可き事共が生じやうかと思はれるので當省の官吏で地方に往くものにはよく其主旨を含ませて居るが婦人方に於ても今少し積極的に經濟の發展につとめらるゝ樣に希望します

◎女子の職業

評議員　有島幸子

左は夫人が特に記者に對して談話せられたる要領なり文字の責は記者にあり

農學博士新渡戶稻造氏の夫人は米國人でございますが私は懇意の間柄ゆゑ本會の主旨を話し贊成を望みました處わざ〳〵私方まで參られて自分は宗敎上戰爭を獎勵するやうなことには贊成致し兼ねますが如何でせうかと問れましたので素より遺族を救ふ爲の會でございますと答ましたらそれならば喜んで贊成致しますとて早速寄附を屆られました其後同夫人を訪問致しました時夫人のお話には私の國等では度々戰爭がありましても戰爭の結果が社會に何程の影響を及ぼすか職業に困る者が何程出來たかと云ふ樣な調もついて居る樣ですがそれてさへ之を救ふことは中々金を集めるよりは困難と存じますがそれにつき私の友人で東京の近縣に居ります英國婦人が話されますに其縣の貧困者を調べたのに出征軍人の家族や戰死者の遺族の外に戰爭の影響の爲困難に陷りし人も多く現に或る農家等では馬を徵發され老人と子供ばかりで農業も出來ず代金は容易に下がらぬとて非常に苦しみ居る者もある故自分は金を遣したいですがされどこの類の人々は他縣にも多からんが是等の爲自分は婦人の企にかゝる會にて全國へ行渡ッて適當に目的を達する會を探して居るがどの會がよろしからんと其の夫人が聞かれたにより更に新渡戶夫人が私に尋ねられますには愛國婦人會は救助すべき人を調べるには如何なる方法を採られ如何なる役員があッて地方の救助者を取調べられるのであるか又其救助したものが適當に屆いて居るか否やを見屆けるには如何なる機關がありますかといふとてした私は評議員でありながら實は未だそこまで深く考へて居りませなんだ爲に正確に配布する事丈けは確に保證しましたが其組織方法については十分な御答へが出來ませなんだ其注意の周到なる觀察の屆いて居る事には實に感心しました且他國の人が斯くまで親切なるには恥入りましたそこで私は家に歸ッて色々考へて見ましたが金を與へたり物品を與へたりすると云ふ事は救助の方法としては最も拙劣なものでありますまいか之を永久に救ふ途をつけるにはどうしても授産の方法を與へるより外はないかと思ひます授産の途も種々ならんが仕事が奇麗で照り降りなしにつゞいて屋外に出ないで家の內でも働かれ且は其作ッたものが日本丈の需用でなく外國へも輸出され外國の金をも吸收する力を持ッて居る仕事は何んであらうかと云ふ事について深く思ひを沈めて考へて見ましたが元來日本人は手の先きが器用で特に女は手藝が得手でありますから造花刺繡等を敎へると云ふ事が一番よからうかと思ひます依て色々取調て見ますと之を習ふについては別段むづかしい事もなく一週間位も習へば賃金を得る事が出來ますとのことそれは櫻の花なればその花丈け習ひ覺え梅の花なれば其花丈け作る事を習ひ一樣な花を千個も二千個も作り後には花と葉と仕事を替へて作り遂に全部を習ひ覺えるやうにするので且其原料も安く必要なる小道具も僅で濟み外國に向ッても十分輸出の途もあるとか聞ましたが外國の造花程巧みには出來ないでも其直段が安い爲に賣捌が容易で在ッて現に外國交易品の一ともならば東京は勿論各地方でも我會が主となッて此授産の方法を起す事にしたらどうであらうかと思ひます而してこれは私が理想的に考へた譯を申上げるのでありますが兎に角く私は新渡戶博士婦人の御話しの如く今日では金を集める方法よりも之を適當に散ずる工風が困難と云事は尤の事と存ますが如何なものか皆さんの考へも承はりたいと思ひます。

◎出征軍人小兒預所

長谷川京橋區長談話

◎設立の主旨　婦人が職業に從事しやうと思うても手足纏いな幼兒を抱へてはとても出來ません夫れて歐洲の有名な都會では晝間小兒預所と申すものが出來て居るといふことを聞きまして私は兼てより市內の貧民の爲に此計畫を實行しやうと思うて居りましたが此度出征軍人の家族を救はねばならぬ事になりまして京橋區出身の者の家族には岩谷と千葉と兩商店の工場に交涉して卷煙草の職を與へる事に致しましたがさて工場に通ふには幼兒を連れて往ッては邪魔になりますから此幼兒を晝間のみ預る所を作る必要を認めまして預ける人があるなしに拘はらず大膽に之を作ッて見ました

◎組織方法　其組織の大要を申しますと先づ本願寺の境內に凡そ二三十人ばかり預けるに適する家を借受けまして小供の監督主任としては幼稚園に出て居ッた保母を一人傭ひまして其他には有志の婦人に手傳うて貰ふ約束にして偖て一日區內の出征軍人の家族であッて子を持ッた爲に働きの出來兼る人々を市役所に招きまして小兒預所の主旨をよく說き聞かせました處が段々に預ける人が出來まして今日では毎日十四五人位は預けるやうになりました

◎預る時間　素より無料で預るのでありまして學齡兒童以下より制限を置き朝六時頃より夕刻七時頃まで預かる事にして其間に乳呑子には牛乳を與へ其他のものには晝食を與へ又時々間食物も與へます又其預かる間に汚した着物は洗濯をしてやるとになつて居ります玩具類やお菓子などは毎日慈善家が澤山に持ッて來て呉れますから不自由はありません

◎手傳の婦人　最初の間は區內の有志婦人方に手傳に來て貰ひましたが中流以上の婦人方は小供を扱ふことが下手であッて役に立ちません。夫れよりは下女に來て貰ふた方が重寶でありますから區內の有志者の內より代る〳〵下女に來て貰ふ事に致し又京橋看護婦會からは八十人程ある看護婦の內毎日一人づゝ代る〳〵出張して手傳うて貰ひますが是れは大いに便利を得て居ります

◎今後の經營　乳呑子には今日では一人につき一人づゝかゝるやうでありますからそれでは叶ひませんから四人位乘られるやうな乳母車を作ッて四人に一人の監督者を置く位ゐにしたいものと考へて居ります費用は區內の兵事義會から出すことになッて居りますが未だ眞に規模が少うありまして費用も僅で濟みますが段々擴張したら單に軍人の家族のみでなく一般の勞働者の分も設けたい希望をもッて居ります

福岡　村島常子

靈井よりめくみの露のおちそひて
いよゝさかゆくこのつとひかな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史傳

フロレンス公コムモス一世の妃エレノルの傳

評議員　下田歌子

文あり武ありよく其良人を内助してしかも其武勳と文教とを宣揚せしは、フロレンス公コムモス一世の妃エレノルといふ女性なりき。今を距ること三百七十餘年のむかし、ネープル總督トレドーは一女子を擧げぬ是れ即ちエレノルなり。エレノル十七歳の年其才と美との聞えいと高かりしかば深くコムモス一世に懇望せられて遂にフロレンス公家に嫁したり。公の父、暗殺の災厄に遇ひて横死せられたりし後を嗣がれたるは、公が婚儀の當時より六年前の事にぞありける。然るに公が家はスツロジー家と代々の宿怨結んで解けざりしかば毎年相互の間に葛藤を生じ兩家しば〳〵砲火相見ることありき。其度毎に妃エレノルは必ず公に從ひて陣中に在り。よく公を助けて、力を用ふること少からざりしが、或時エレノルは僅に十五騎を從へて偵察に出でける途上端なくも、敵の大將フイリップス、ツロジーが、四十五騎を率て、此方の陣を偵察せんとて來るに遇ひぬ。敵將は世に聞えたる勇者なり敵兵はまた我に三倍せり。衆寡もとより敵すべきにあらねど遁れ避くべき道あらねば、エレノルは自ら眞先に馬を乘り出だし、進め、か〻れ、と呼びながら、どつと叫喚いて、無二無三に突き入れば、味方の十五騎一齊に、女將軍を討たすなと、必死の鋒さきいと鋭く面もふらず薙ぎ立つれば敵は脆くも算を亂して人なだれを打ッて逃げ走るを勝に乘ッたる女將軍は敗る〻敵を追ひ詰めて遂に大將を捕虜にしたり。當時の習慣として捕虜は必ず殺さる〻ことなりければ、さすがに、敵の大將は名を惜み死を急ぎて見事に獄中に自殺しけり。妃エレノルはこれを聞きて深く憐み歎き、公にす〻めて申されけるは、凡そ敵味方と分れて、戰ひの中に殺し殺さる〻は已むことを得ざれども勢ひ盡きて捕虜となりたる者を殺すは誠に情無き事なり、希くは爾今以後捕虜は命を斷たずして平和克復の後互に交換して生還せしめたきものにて候ふと繰り返して說かれければ公もげにと諾ひて、それより捕虜は免さる〻とに成りぬとぞ。エレノルの行爲は實に恩威並び行ふ者といふべし。

其後エレノルは英王チャールス五世と佛王フランシス一世との戰爭にも、夫に陣中に從ひてセンナの役の如きも比類無き働きして、勇名を轟しけり。斯くて、エレノルは、いかにもして、夫を伊太利の王位にのぼせまほしと、いたく心を苦しめけれども、其事はつひに成らざりき。されど、タスカニー大公となる事を得たりき。それより後、エレノルは、公をす〻めて退隱せしめ、殘んの生涯は敎育、美術、及び慈善事業の發達に盡して、大いに見るべきもののあるに至らしめ、のどかに幸福の天佑を全うすることを得たりき。

古より今に至る迄英雄と稱せられ、名士と號せられし人も、其進退宜しきを得ず、動すれば功に誇りて、他の疾視するところとなり、其終りを全うすること能はざりしも、亦少しとせず、然るに、エレノル、身は女性にして、能く武功をたて、其良人をして、榮達の地に進ましめながら、機を見て能く退き道を知りて能く慈善敎育の事に從ひ以て餘生を安樂の所に置くを得たる誠に賞すべく習ふべきなり。妃エレノルの如きは、能く足ることを知る人といふべし。

童話

牧童

小波閲　柳蔭郞

ある一人の牧童が麗な春の日に、翠滴る山陰の谷間に羊を牧つてをりました。靑草の中に赤、黃いろ〳〵の美しい花が咲いてゐて、天然の景色が實に畫にも畫けないやうに良いので、この牧童は愉快さうに笛を吹き歌を唄つて樂んでをりました。其處へこの國の殿樣が獵に御出でになつて、こ〻へ入つしやいましたが、牧童のこの面白さうな有樣を御覽になつて、かの牧童にむかひ「コレ〳〵牧童、お前は何うして其樣に愉快さうにしてをるのだ。」とお尋ねになりますと、牧童は殿樣であると云ふ事を少しも知らずに、「何故つて、私はこの國の殿樣より富んでゐる人ですもの、面白くなくッて何うするもんですか。」「エッ。殿樣よりお前が富んでゐると、一躰それは何う云ふ理由なのか」「へエ、まあ御覽なさい、この太陽は美しい蒼い空に輝いてゐますが、殿樣だつて私だつて此太陽を見て嬉しいのは同じでせう。又この山や谷が樹や花で美しく飾られてゐるのを、殿樣が見ても私が見ても美しいのは同じことです、私のこの兩腕、それを人が百圓出すから賣つて與れいと云ッたッて、私は斷ッて賣るのは嫌です。私の眼だッて左樣です。まあ私がかうやッてゐれば、自分の思ふ丈けの物は得られるのです、それに第一私は必要なものより他に慾いとは思はないんです、喰べる物もお腹が張ればよし、衣る物も身體を隱せば良いのです。さうして見たら殿樣だッて別に私より富んでゐると云ふ事はありやしますまい。」と申しましたので、これをお聞きになッた殿樣は感心なすッて、笑ひながら「ウム左樣ぢや、お前の云ふとほりぢや。何時までもその心で此世の中に滿足してをるが、一番良いのぢや。」と仰しやいました。

足る事を知れば總てに滿足して愉快でゐられる。左樣したなら心は王侯と同じことである。

寄書

所感

東京府北多摩郡會員

前號の「愛國婦人」に堀內陸軍少佐の御話しを伺ひまして私は同感に堪へませぬ就きまして第三大會の折の所感を聊か申上げます本會は元より質素を旨として申す主意と云ふことは今更繰返して申上る迄も無きことではございますが私の考へでは實際に立入りて見まするとなか〳〵左樣でないやうに思はれます私は本會に對しては尤も赤心を以て及ばずながらも盡したいと申す考へでございまして殊に時局開展以來は成るべく多くの人々に本會の趣意を知らしめ出征の兵士や其家族の者をして我愛國婦人會ありと申すことを聞せましたなら定めて一層心強く思ふて在ましやうと存じまして大會の前などは殆んど半ヶ月程も日夜奔走致しまして本會の主意を委しく話して聞せましたり亦寄附金や入會も勸めました其結果として唯今では村內の人々が日々の新聞紙上に於ても本會の記事には特に目を止めるやうに成ました夫で大會に出席の際の如き私は質素の服裝でと申して會員を誘うて同行致しました處がどなたを御見受申ても皆御立派なる服裝で御出席に成て居られますので私は其者に對して非常に氣の毒を感じました勿論斯くの如きことは今回許りてはございませぬが私はいつも〳〵此次は如何にや亦此度は時節柄故など〻存じまして夫故自分は本會の主意に本づき決して恥かしいとも思ひませねど初て參つた地方の婦人などは大に其點に心を止めまして自づと其席につらなりかねるやうに思ひますのも亦無理もないこと〻存じます殊に先日大會などでは羽織をぬげとの御注意により地方から參つた老婦人などは自分に取ては第一等の禮服と心得て着用致して參りました羽織の紋付をぬぎましたのでございますから下の着衣はと申せば手織の縞で繻子の半襟付と申すやうな次第で此等の人々は如何なる感に打れましたことかと存じますと實際に見聞き致しました私などは誠に此上もなく氣の毒さを感じました斯くの如きことが毎々ございましたなら地方婦人などは大會に出席致す者が控へ目に成りはせぬかと存じます併ながら先日の大會は畏れ多くも總裁殿下の御殿であるから禮節等も注意致さねばと申すことは一般の人々の心得てございましたので在ましやうが我々は會員の資格で參るのでございますから本會の主意を守り質素の服裝で參りましたとて決して不敬にわたる氣遣はないでございましやうと存じました只私は同行者に向て式場にて話しを致さぬ樣に又咳嗽など致す時は聲を忍び袖を被うてせねばならぬなど申して參りました。」猶序に申上たいと存じますは今より本會々員たる者は各自袂を切て本會の資に充てられては如何です抑我國婦女子の服裝は優美とは申しましても大層不經濟でございますから袂は禮服だけに止めまして自今日本全國の婦女子の袂を筒袖と致しましたなら其餘剩を以て軍艦の一隻位は立所に出來得ることと存じます、のみならず帶を廢し袴を用ひましたなら衞生上の爲に於きましても大によろしからうと存じます已に地方の小學校の女生徒抔は皆筒袖にて快活に通學するに引かへ抑て都下の女生徒は丈なす袂を大路の風に飜しつ〻通校するを見ます誠に慨歎の至りではございませぬか數ならぬ私抔が拙なき筆に斯樣なことを申上げますは甚烏滸がましうございますが本會の爲に聊か思ふ所を申上ました次第でございます。婆心の程御笑覽を願ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

住居（つゞき）

○掃除　吾人の家屋には絶えず不潔なる塵芥を生ずるが故に此の掃除を怠るべからず塵芥の害は誰れも知る處にして蚤其他の寄生虫は不潔より生じ爲に衛生上害を受くること多し掃除の際にはよく腐敗破損の箇處を檢分して之に修繕を施し鼠族の巢窟を發見せば丁寧に驅除すべしこは衛生上必要なるのみならず家屋保存の上にも必要なり

○塵芥　塵芥は飲食物調理の際にも生じ殊に我邦にては樹木多き故に落葉其他除去すべきもの至ッて多し是等は燒き捨つるをよしとす長く芥溜中に投じ置く時は腐敗し易し又雨水等之に入る時は地中に浸込むの恐れあれば務めて早く適當の場所に捨て去るべし

○汚物　汚水は庖厨洗濯浴湯等より生ずるもの多きを以て是等は下水を完備せしむるに若くはなし糞尿は肥料にして貴重なれども不潔なるは論なし臭氣止めとしイは綠礬最も宜しく石灰も又可なり或は煙突を設け或は樟腦油石炭酸等を注入すれども是等は元來の臭氣を消滅せしめんとするに非ずして臭氣を掩ふ仕方なれば十分の効あらざるべし

○庭園　吾人の生活に最も關係を有する光線及び空氣を室内に入らしむるがためには多少の空地を要す殊に多人數集合する場合にては地震火災等の爲にも空地を備ふると必要なり泉水は強て必要なるものにあらざれども家屋建築の際地盛りを爲す時土を掘りこれを自然溜水池となし附近の濕氣を之に導くは衛生上よきことなり然れども池中の水常に變らざる時は敗水を貯ふる譯となれは却ッて有害なるものと知るべし

○家具　家具は何れも只美ならんよりは實用に適したるものを使ふべし殊に染料の有害なるものを用ゐて作りたる装飾品等は宜しからず盆栽は室内の装飾として廣く用ゐらるれども夜間は植物の爲にも人體に取りても室内に置くは宜しからず宜しく外に出し置くべし

都會の住居

○都鄙の差別　都會の人は顔色が蒼白にして筋骨薄弱なり人情も輕佻浮華にして華美を好むを常とす然るに田舎の人は面色赭紅にして筋骨も強實且つ性質も素朴なり死亡率も都會の方高し肺病の多きも都會にして貧血の病ひも都會に多し田舎の野廣い空氣の淸鮮な水の質も淨き所に住居するものと人口が稠密にして幅の狹い底い家の中に住んで居るものとは諸種の點に差あり故に都會に住むものは注意して其惡き處を避けざるべからず

○神經系の病氣多し　神經性の病氣は都會に住する女子に最も多し其原因は腦を使ふ職業か都會は田舎より多きによる且都會のものは虚飾を好む結果女子は身躰の非弱を好み強壯肥大なるを耻づるの傾あるによる且都會の地は事務繁雜にして相互の競爭起り晝夜精神を休むる間暇なきによる

○都會住居の危險　都市の交通機關は年々進歩し完備するに從ひ速力も早く動力も強くなり其爲に不測の怪我を受くるもの多きに至る是等の危害を避けんには途上交通の妨害物を除かざるべからず例へば道路の修繕積雪の除去の如き或は荷物を路端に積み往來の邪魔を除く事に心懸け車馬を疾驅せしめたり兒童を路傍に遊ばせる事等は各自に於て注意し其他祭禮年の市又は非常の場合失火等の場合に起る雜沓を避くる方法をも講究せざるべからず

◎東京府近在農家生計の有様

（博覽會にて褒狀を得たるもの）（飾郡新宿町調）

夏物衣服調進費用（但婦人もの）

上位 衣服名	價格	中位 衣服名	價格	下位 衣服名	價格
紺飛白單衣	四,〇〇〇	木綿中形單衣	一,〇〇〇	手織木綿單衣	〇,四〇〇
縮緬と緞子との腹合せ帶	七,〇〇〇	（メリンスとカンコツ）繻子腹合帶	二,三〇〇	小倉小幅帶	〇,一三〇
帶揚	一,五〇〇	手織木綿前掛	〇,三〇〇	手織木綿腰卷	〇,一五〇
白木綿襦袢	,三〇〇	白晒木綿腰卷	〇,一〇〇	木綿前掛	〇,一〇〇
透綾前掛	,六〇〇			襷	〇,〇三〇
白メリンス腰卷	一,二〇〇				

○嫁取費

種別	上	中	下
結納	三〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	五,〇〇〇
饗應費	一四〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
祝儀	三五,〇〇〇	二三,六〇〇	一,〇〇〇
雜費	三〇,〇〇〇	一二,〇〇〇	二,〇〇〇
計	二三五,〇〇〇	八〇,六〇〇	一八,〇〇〇

○嫁遣費

種別	上	中	下
道具	八五,〇〇〇	四二,〇〇〇	三,〇〇〇
衣類	四四五,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	七,〇〇〇
贈物	三〇,〇〇〇	七,五〇〇	二,五〇〇
祝儀	一〇,〇〇〇	三,五〇〇	五〇〇
雜費	四〇,〇〇〇	三五,〇〇〇	二,五〇〇
計	六一〇,〇〇〇	二二八,〇〇〇	一五,五〇〇

○出産費

種別	上	中	下
衣類	三五,〇〇〇	一七,〇〇〇	三,〇〇〇
饗應費	一三,〇〇〇	五,五〇〇	一,五〇〇
祝儀	五,〇〇〇	三,〇〇〇	一,〇〇〇
雜費	九,〇〇〇	五,〇〇〇	一,五〇〇
計	六二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	七,〇〇〇

○兒童祝費

種別	上	中	下
衣類	七〇,〇〇〇	四五,〇〇〇	八,〇〇〇
饗應費	三五,〇〇〇	二五,〇〇〇	—
雜費	一二,〇〇〇	九,〇〇〇	一,五〇〇
計	一一七,〇〇〇	七九,〇〇〇	九,五〇〇

○節句祝費

種別	上	中	下
飾費	三五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二,五〇〇
饗應費	一五,〇〇〇	九,〇〇〇	二,〇〇〇
雜費	一五,〇〇〇	七,〇〇〇	一,五〇〇
計	六五,〇〇〇	二六,〇〇〇	六,〇〇〇

○葬式費

種別	上	中	下
野道具	三〇,〇〇〇	八,〇〇〇	二,五〇〇
饗應費	七五,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
布施	九,〇〇〇	三,〇〇〇	一,五〇〇
雜費	四〇,〇〇〇	八,〇〇〇	三,〇〇〇
計	一五四,〇〇〇	四九,〇〇〇	一七,〇〇〇

◎泰西婦女訓

◉一事を爲し終りたる後に非ざれば他の一事に移ると勿れ急がず息まず心ながく行ふにより成功す

◉三十歳以前にあらざれば學科を習得するを得ざるものと思ふ勿れ晩年の研究こそ一意專心なる也

◉都會に住するもの丶み教化を受くるものと思ふ勿れ村落に於ける天然の光景は汝を秀美ならしむ

◉些細なる禮儀を守るべき時間を吝む勿れ禮儀は小なりと雖も人をして美しく且威儀あらしむる也

◉貴族の家に生れたるを以て直ちに淑女なりと思ふ勿れ誠實の行ひあり品性の高き人こそ淑女なり

◉富貴の人と交際するを以て自ら喜ぶ勿れ容儀作法の秀美なるを見て自己の性癖を矯正するに勉よ

◉金錢物品を與ふるのみを以て慈善の本義と思ふ勿れ同情を以て財貨の用法を實用的に助言すべし

◉假令一人たりとも家庭に於ては氣儘なる行爲を許す勿れ一人の氣儘は即ち家庭の平和を破る基也

◉自己の便を達せんが爲に家族を呼ぶと勿れ病者に非ざる限りは躬自の用務は自身立ちて之を爲せ

◉食物の調理に冷淡なる事勿れ家族に歡樂を與ふると否とは單へに主婦が料理法の巧拙によるなり

◎家庭法規 二（蕣轉載）

○牛乳は沸騰してより、五分間以上煮立てざれば、十分に殺菌の効なきものと知るべし。

○牛乳の稀め方

生後三個月迄	牛乳一	水三
四個月より六個月迄	牛乳一	水二
七個月より九個月迄	牛乳一	水一
十個月より十二個月迄	牛乳二	水一

○牛乳の量は、生後一個月の小兒には、一回に五勺位よりして、漸次增して一合乃至一合五勺に至る。其一日の量は三合五勺より五六合までとす。

○牛乳は人乳より糖分少なき故に、一合につき白き角砂糖一個を入るゝをよしとす。

○煉乳の稀め方は、最初二十二倍にして、漸次少しづゝ濃くし、十二倍を極度とす。

○煉乳には、通常四割以上の砂糖を混じあるを以て、小兒の胃を害すると多きものと知るべし。

○産湯の後、毎日湯を遣はしむべし。多少成長したる小兒にても、尙隔日又は三日目に湯を遣はすべし。

○小兒の頭巾は、毛絲製など、空氣の流通よく軟かきものを宜しとす。而して頭巾は戸外のみに限り、赤子と雖も決して屋内にて用ゐしむべからず。

○足袋も毛絲製にて、膝の上部まであるものを宜しとす。

○肌に着く衣服は、最も木綿を宜しとす。

○付紐を胸高結ぶべからず。且緊しく結ぶべからず。

○衣服を着せ更ふる時、蝨などの附着せざるかを能く檢すべし。

○赤兒の大便は卵黄色にして、軟かく凝固物の無きを通例とす。

○赤兒は一晝夜に二回乃至四回の大便と、其れ以上の小便あるを通例とす。

○赤兒大小便の後は、湯にて絞りたる布にて股間を淸潔に拭ひ、鉛なき白粉或は天瓜粉を撒り置くべし。

○赤兒の呱くは其原因種々あり。

一、空腹なるため
一、襁褓の穢れしため
一、腹痛のため
一、其他外界よりの刺激

呱けば何時にても空腹なる爲と思ふは間違ひなり。母親たる者は仔細に其原因に注意して、赤兒の欲する所を理解すべし。赤兒の腹痛にて呱くは、急に呱出して、手足を縮め、顔をしかめ、苦しき狀態を現はすもの。なり。又赤兒の腹部を手にて輕く押へ見るに、腹痛ならば幾らか呱き止むものとす。

大日本女學會

小松宮頼子殿下の總べさせらるゝ本會は十年來女學通信教授に従事し本會の教を受くる女子既に三萬人に及べり●本會の目的は女學の講義錄を發行し小學校を卒業せる女子にして種々の事情に支へられ高等女學校に入學する事を得ざる者に家庭に在りなから諸大家の講義に係る女子必須の諸學科を學修せしむるに在り●講義は平易懇到なる上に假名をふり傍訓をも加へあれば初學の人々にても了解する事を得べし●講義は嶄新高尚なる學説を平易に述べたるものなれば素養ある婦人の參考書としても極めて適切なり●講義錄に高等簡易兩科あり會費は簡易科金貳拾錢高等科金四拾錢とす

東京市麹町區

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

稟告

伏見若宮博恭王妃勳二等經子殿下
本會名譽會員に戴き奉る事となれり此段會員諸氏に披露す

愛國婦人會

○評議員會　客月廿七日第四水曜日本部樓上に於て評議員會を開けり當日はマギー女史歡迎會の催し等ありたる爲出席者尠く重要なる議案多かりしも遂に決定に至らずして散會せり

○京都支部大會　京都支部に於ては今五日知恩院に於て支部大會を開く當日は名譽會員賀陽宮妃殿下久邇宮妃殿下御臨場あらせらるゝ筈なり

○本部遊說員派遣　本部遊說員野中彌知子富樫眞喜子の二氏は去る四日青森縣下遊說の途に向ひたり同地濟み次第秋田山形の兩縣下に遊說を試むる筈なり

○東京支部幹事會　去月廿日本部に於て東京支部幹事會を開く當日の出席者は千家支部長、岩佐、飯塚、石崎、井上、岩崎、濱尾、波多野、服部、長谷川、花岡、仁尾、西澤、堀内、星野、保利、大住、渡邊、柿沼、藤井、高木、中山、中井、長田、長井、村田、羽田、山脇、柳谷、山上、松平、松崎、前川、古屋、小浦、寺井、阿部、安藤、齋藤、宮谷、清水、仁杉、東村、平野の諸氏にて諸般の事務整理上の協議を爲せり

○マッギー女史歡迎　米國より我國赤十字社特志看護婦人會應援のため渡航し來れるマッギー女史一行は去廿二日午前八時半横濱に上陸したるを以て本會神奈川支部職員三四十名出迎ひし翌廿三日午前十時八分新橋に到着したるを以て左の職員出迎はる。九條惠子、岡部坻子、千家俊子、山脇房子、濱尾作子、鳩山春子、津田梅子、柳谷千代子、中山幸子の諸氏なり

○英國婦人へ謝狀　愛國婦人會の旨趣を贊同し去月八日九日高等商業學校に於て演藝會を催し其純益金を本會へ寄贈したるにより會長より左の通り謝狀を發せられたり

拜啓余は貴下が本會の基本金の一分として非常なる好意を以て御寄贈相成候額面貳百圓の小切手を落手せしことを報道するの榮譽を有す考ふるに此好時機に投じて如斯義俠ある貴下の行爲は必然本會々員一同の感佩心を喚起するを誤たざるべし余は本會に代て茲に貴下の好意及貴下が今回の義捐の爲に取られたる煩勞に對して謹むで感謝の意を表す

○本會へ寄附　其後本會へ寄附されたる分左の如し

金五拾圓　京都　山田岳榮子
金五拾圓　京都　津田あい子
金百五拾圓　伯爵　前田利同
金貳百圓　東京帝國大學教授　マリーロイド夫人
金五拾圓　大阪　末永ヤス子
金五拾圓　子爵夫人　西尾明子
金壹百圓　侯爵夫人　德川良子
金五拾圓　京都　小森花子

以下の諸氏は何れも既納金を併せ五拾圓以上となりたるものなり

金三拾五圓　東京　有馬幾子
金三拾五圓　仝　小林妙子
金四拾六圓　大阪　稻畑登美子
金四拾四圓　東京　古市幸子

○寄附人名訂正　第四十八號寄附金中島根縣和田さつ子とあるは大村幾子の誤り第五十二號子爵夫人鍋島輝子とあるは子爵夫人鍋島貴子の誤りに付訂正す

○大會の時祝電　前々號に記載したる外左の各地よりも祝電ありたるにつき追加す

熊本支部長、神奈川支部長、岩手支部長、滋賀支部長、富山支部長、高知支部、福岡支部、德島支部、福井支部、沖繩支部、北海道日高西幹事、高知縣議員片岡美遊子、

○各地支部の狀況

○青森支部　同支部より特に報知ありし會員入會美談の一節によれば三戸郡上長苗代村に大島竹松氏の二女ツナ子とて本年漸く十六歲の少女が學校へ通ひし餘暇にて機織をなし其の得たる金を貯蓄し居たるに愛國婦人會の主旨を傳へ聞き婦女の甲斐なき身なれども同じく帝國の臣民として奉公の萬一を報ずるは此の時なんめれと己が貯へ得たる金を以て直ちに入會し尙ほ將來とも一厘なりとも父兄より仰がず己が腕にて稼ぎ得たる金もて會費を辨せんとの意氣込みに姉のソメ子も妹の殊勝なる心掛けに感激して入會することとなり母のツル子と都合三名同家より同會員を出すに至りしと云ふ

○石川縣支部　同縣支部河北分區よりの報知によれば決議事項左の如しと云ふ

一恤兵に關する件　會員中有志者より應分の寄附金を募集し陸海軍恤兵部へ卷軸繃帶を獻納すること卷軸繃帶は婦人職員並に會員中有志者當町議事堂に集合調製すること
一會員勸誘に關する件　豫め日割を定め、幹事一名乃至二名（交互）事務員一名出張すること
一軍人慰問に關する件　出征軍人にして死亡又は傷病者ありたるときは分區長並に最寄幹事一名分區を代表し遺族等を慰問し葬儀の節は香花料金五拾錢に弔問狀を贈ること但し該當最寄の會員は漸々會葬又は慰問すること

○大分縣支部　大分縣直入郡は廣瀨中佐の生國につき同郡竹田町にて本會員發企となり廣瀨中佐追悼會を開きたるよし尙客月十日同町豐陽館にて郡部大會を開き出席者三百人ありたりと云ふ又同縣支部にては職員協議會を大分町にて開き家族慰問の事項を協議し順番にて慰問者の人名を定めたるよし

○熊本縣支部　支部例會を去月十八日開會せり現在會員五千二百餘名に達したるよし。同縣支部にては本會より送附せし遺族の救護金交附の際各郡市役所に於て幹事立會の上交附する事に定め本會の主旨を訓示し辭令書と共に渡すを以て貰受くるものも非常に感謝を表するよし尙菊池郡大津町にては總會を開き支部よりは飯田副支部長出張非常に盛會なりしよし

○富山縣支部　富山縣射水郡佐野村四義寺に於て客月九日を以て愛國婦人會の總會を開きたるが該村にての會員は僅かに十三名の會員なりしに夫れ等の婦人等主動者と成り勸誘の結果更に五十有餘名の加入者を得たるを以て將來一層多數の增募員を得んとの目的を以て今度縣下にて有名なる本願寺派古國府勝興寺連枝土山澤映師の御裏方龜子夫人を招聘し該會の主意を徹底周知せしめんとの目的にて一場の講話を乞ひしが同一行は同日午前十時を以て會場に着し午後一時には既に滿員となり左しもに廣き堂宇も立錐の餘地なく無慮二千五百餘名と見受らる最も御裏方の同地方へ赴かせられたるは今回を以て始めての事とて一層眼鼓善男善女の參聽者多かりき、やがて定刻に到るや吉岡徹氏開會の主意を演べらる次に土山御裏方愛國婦人會の主意を述べ多數の入會員を得て同心共力以て遺族者の救護に資する必要を說きて降壇せらるゝや續きて長谷川夫人は愛國婦人會設立の主旨より說き起し時局に適切なる事柄を引證して講演せらる次に野田豐民氏等各懇篤に時局に對し講話する所ありたれば聽衆一同感に打たれ會の終りしは午後四時三十分頃なりき最後にて村長林理入氏の音頭にて閉會下初め愛國婦人會の萬歲を三唱して退散せり。

○長崎縣支部　長崎縣東彼杵郡は從來愛國婦人會々員たるものは僅かに大村聯隊將校夫人のみなりしが本年二月奧村五百子女史遊說の結果大に感動を與へ爲めに僅少期間を以て九百有餘名の會員を糾合するを得たり今尙續々申込者あれば本郡中流以上の婦女子は概して本會員たるの氣運を現はし婦人奉公の實を發揮したるとゝもに一面には一般に質素勤儉の美風に向ひつゝあるは實に此際人意を强固ならしむるに足れりと云ふべし

右の盛況に接したるを以て取り敢えず客月廿四日を以て同縣他郡市に先だち時以第一に本郡總會を開くに至れり今其概況を記せば前日來降りみ降らずみの天候は朝來俄に晴模樣となりしを以て各町村の會員今や遲しと押かけ午前九時と云ふには來會するもの實に五百三十名の多きに達せり式場は大村町郡會議事堂を充て正門には大國旗を交叉し玄關には挨拶員整列して一々來賓に接し一の混雜を來さず式場正面には閑院宮總裁殿下の御寫眞を奉掲し傍に藤の大花瓶をしつらへいと莊嚴に整へり當日來賓の主なるものは荒川長崎縣知事冲旅團長各將校新聞記者各郡市常任幹事各町村長等七十餘名と註す席定るや一同敬禮を爲し幹事田邊サキ子式辭を讀み菊川支部長祝詞を讀み荒川本縣知事田邊本郡長交々立ちて一場の演說を爲し閉會を告ぐ夫より一同は兼て用意しある舊大村城跡の風光最も明媚なる玖島崎の庭園に園遊會を催す同所は宛然湖の盆水に臨み近く臼島箕島を控へ漁舟の行かふ樣さながら一幅の山水畫に異ならず生憎當日は春雨瀟々と降りしきりたれども出征軍人の苦を思へは何の其との意氣込みにて荒川知事冲旅團長各將校始め貴婦人令孃ひしく\と押かけたり舊城櫻馬場の道櫻は春雨に名殘を惜み傘上には時ならぬ雪を戴き足に殘雪を踏むの趣ありて時に取りての一興なりき設けの場に到れば幔幕を張り詰めたるすし屋うどん屋田樂　茶店牡丹餅ビール店菓子屋菓實店等の松の間にく\隱見し各店には夫々貴夫人令孃各係衛頭に扮し居ッしやいの妙音此處彼處に聞へ主賓三三五五思ひく\に組をなして諸々の意匠を愛でつゝ笑ひ興じ十分の歡を盡せり餘興には學校上りの妙齡の會員時宜に適したる遊戲をなして大に喝采を博したり

時事唱詠

故廣瀨海軍中佐の忠烈に感じて　男爵　高崎正風

七かへり生れかはりて國のあだ
　うたてはやまじやまと魂

あたの船みなしづめずばめをとぢて
　君は瞑らじ息はたえても

制海權　坂正臣

みいくさは心にさはるものもあらじ
　はてなき海をわがものにして

同　大口鯛二

あだ浪の跡を收めし海原に
　あふるゝものは御稜威なりけり

加藤義淸

あたの船ゆきかふ道やなかるらん
　あさ日のみはた海をおほひて

恩賜義手義足　坂正臣

身をすてゝむくいまつらん足のさき
　手の末までもかゝるみめぐみ

同　大口鯛二

たらちねのおやにうけたる手足より
　たふとかりけりこの賜物は

みめぐみの身にしあまれば矢ひし
　手足も惜しと思はざるらん

大日本女學會

講義録を發行し小學校を卒業せる女子にして種々の事情に支へられ高等女學校に入學する事を得さる者に家庭に在りなから講義の意味を了解する…
義に係る女子必須の諸學科を學修せしむるに在り●講義は平易懇到なる上に假名をふり傍訓をも加へあれば初學の人々にても了解する事を得べし●講義は嶄新高尚なる學說を平易に述べたるものなれば素養ある婦人の參考書としても極めて適切なり●講義録に高等簡易兩科あり會費は簡易科金貳拾錢高等科金四拾錢とす●はがきにて申込あれば直に詳細なる會則を呈す

東京市麹町區下二番町三十七番地
（電話番町一三三〇）
大日本女學會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

住居（つゞき）

○掃除 吾人の家屋には絶えず不潔なる塵芥を生ずるが故に此の掃除を怠るべからず塵芥の害は誰れも知る處にして啻其他の寄生虫は不潔より生じ爲に衛生上害を受くること多し掃除の際にはよく腐敗破損の箇處を檢分して之に修繕を施し鼠族の巣窟を發見せば丁寧に驅除すべしこれは衛生上必要なるのみならず家屋保存の上にも必要なり

○塵芥 塵芥は飲食物調理の際にも生じ殊に我邦にては樹木多き故に落葉其他除去すべきもの至ッて多し是等は燒き捨つるをよしとす長く芥溜中に投じ置く時は腐敗し易し又雨水等之に入る時は地中に浸込むの恐れあれば務めて早く適當の場所に捨て去るべし

○汚物 汚水は庖厨洗濯浴湯等より生ずるもの多きを以て是等は下水を完備せしむるに若くはなし糞尿は肥料にして貴重なれども不潔なるは論なし臭氣止めとしては綠礬最も宜しく石灰も又可なり或は煙突を設け或は樟腦油石炭酸等を注入すれども是等は元來の臭氣を消滅せしめんとするに非ずして臭氣を掩ふ仕方なれば十分の効あらざるべし

○庭園 吾人の生活に最も關係を有する光線及び空氣を室内に入らしむるがためには多少の空地を要す殊に多人數集合する場合にては地震火災等の爲にも空地を備ふると必要なり泉水は強て必要なるものにあらざれども家屋建築の際地盛りを爲す時土を掘りこれを自然溜水池となし附近の濕氣を之に導くは衛生上よきことなり然れども池中の水常に絶らざる時は敗水を貯ふる譯となれば却ッて有害なるものと知るべし

○家具 家具は何れも只美ならんよりは實用に適したるものを使ふべし殊に染料の有害なるものを用ゐて作りたる裝飾品等は宜しからず盆栽は室内の裝飾として廣く用ゐらるれども夜間は植物の爲にも人體に取りても室内に置くは宜しからず宜しく外に出し置くべし

都會の住居

○都鄙の差別 都會の人は顔色が蒼白にして筋骨薄弱なり人情も輕佻浮華にして華美を好むを常とす然るに田舍の人は面色赭紅にして筋骨も强實且つ性質も素朴なり死亡率も都會の方高し肺病の多きも都會にして貧血の病ひも都會に多し田舍の野廣い空氣の清鮮な水の質も浄き所に住居するものと人口が稠密にして幅の狹い底い家の中に住んで居るものとは諸種の點に差あり故に都會に住むものは注意して其惡き處を避けざるべからず

○神經系の病氣多し 神經性の病氣は都會に住する女子に最も多し其原因は腦を使ふ職業か都會は田舍より多きによる且都會のものは虚飾を好む結果女子は身躰の非弱を好み强壯肥大なるを耻づるの傾あるによる且都會の地は事務繁雜にして相互の競爭起り晝夜精神を休むる間暇なきによる

○都會住居の危險 都市の交通機關は年々進歩し完備するに從ひ速力も早く動力も强くなり其爲に不測の怪我を受くるものも多きに至る是等の危害を避けんには途上交通の妨害物を除かざるべからず例へば道路の修繕積雪の除去の如き或は荷物を路端に積み往來の邪魔を際く事に心懸け車馬を疾驅せしめたり兒童を路傍に遊ばせる事等は各自に於て注意し其他祭禮年の市又は非常の場合失火等の場合に起る雜沓を避くる方法をも講究せざるべからず

◎東京府近在農家生計の有樣

（博覽會にて褒狀を得たるもの）（[illegible]郡新宿町調）

夏物衣服調進費用（但婦人もの）

上位 衣服名	價格	中位 衣服名	價格	下位 衣服名	價格
絹飛白單衣	四,000	木綿中形單衣	一,000	手織木綿單衣	〇,五00
繻珍と繻子との腹合せ帯	七,000	オリンスとカンコウ繻子腹合帯	二,五00	小倉小幅帯	〇,一五0
帯揚	一,五00	手織木綿前掛	〇,五00	手織木綿腰卷	〇,一五0
白木綿襦袢	、五00	白晒木綿腰卷	〇,一00	木綿前掛	〇,一00
透綾前掛	、六00			襷	〇,0五0
白メリンス腰卷	一,二00				

○嫁取費

種別	上	中	下
結納	五0,000	一五,000	五,000
饗應費	一五0,000	五0,000	一0,000
祝儀	二五,000	五,五00	一,000
雜費	三0,000	一三,000	五,000
計	二五五,000	八0,五00	一九,000

○嫁遣費

種別	上	中	下
道具	八五,000	四三,000	五,000
衣類	四二五,000	一五0,000	七,000
贈物	五0,000	七,五00	二,五00
祝儀	一0,000	五,五00	五00
雜費	四0,000	五五,000	二,六00
計	六二0,000	三八一,000	一五,五00

○出産費

種別	上	中	下
衣類	二五,000	一七,000	五,000
饗應費	一三,000	五,五00	一,五00
祝儀	五,000	五,000	一,000
雜費	八,000	五,000	一,五00
計	六二,000	五0,000	七,000

○兒童祝費

種別	上	中	下
衣類	四0,000	四五,000	八,000
饗應費	五五,000	三五,000	―
雜費	一三,000	八,000	一,五00
計	一二七,000	七九,000	九,五00

○節句祝費

種別	上	中	下
飾費	二五,000	一0,000	二,五00
饗應費	一五,000	八,000	二,000
雜費	一五,000	七,000	一,五00
計	五五,000	二六,000	六,000

○葬式費

種別	上	中	下
野道具	二0,000	八,000	二,五00
饗應費	七五,000	五0,000	一0,000
布施	八,000	五,000	一,五00
雜費	四0,000	八,000	二,五00
計	一四三,000	七一,000	一七,000

◎泰西婦女訓

◉一事を爲し終りたる後に非ざれば他の一事に移ると勿れ急がず息まず心ながく行ふにより成功す

◉三十歳以前にあらざれば學科を習得するを得ざるものと思ふ勿れ晩年の研究こそ一意專心なる也

◉都會に住するものゝみ敎化を受くるものと思ふ勿れ村落に於ける天然の光景は汝を秀美ならしむ

◉些細なる禮儀を守るべき時間を吝む勿れ禮儀は小なりと雖も人をして美しく且威儀あらしむる也

◉貴族の家に生れたるを以て直ちに淑女なりと思ふ勿れ誠實の行ひあり品性の高き人こそ淑女なり

◉富貴の人と交際するを以て自ら喜ぶ勿れ容儀作法の秀美なるを見て自己の性癖を矯正するに勉よ

◉金錢物品を與ふるのみを以て慈善の本義と思ふ勿れ同情を以て財貨の用法を實用的に助言すべし

◉假令一人たりとも家庭に於ては氣儘なる行爲を許す勿れ一人の氣儘は即ち家庭の平和を破る基也

◉自己の便を遂せんが爲に家族を呼ぶと勿れ病者に非ざる限りは躬自の用務は自身立ちて之を爲せ

◉食物の調理に冷淡なる事勿れ家族に歡樂を與ふると否とは單へに主婦が料理法の巧拙によるなり

◎家庭法規 二 （續前號）

○牛乳は沸騰してより、五分間以上煮立てざれば、十分に殺菌の効なきものと知るべし。

○牛乳の稀め方

生後三個月迄	牛乳一	水三
四個月より六個月迄	牛乳一	水二
七個月より九個月迄	牛乳一	水一
十個月より十二個月迄	牛乳二	水一

○牛乳の量は、生後一個月の小兒には、一回に五勺位よりして、漸次增して一合乃至一合五勺に至る。其一日の量は三合五勺より五六合までとす。

○牛乳は人乳より糖分少なき故に、一合につき白き角砂糖一個を入るゝをよしとす。

○煉乳の稀め方は、最初二十二倍にして、漸次少しづゝ濃くし、十二倍を極度とす。

○煉乳には、通常四割以上の砂糖を混じあるを以て、小兒の胃を害すると多きものと知るべし。

○産湯の後、毎日湯を遣はしむべし。多少成長したる小兒にても、尙隔日又は三日目に湯を遣はすべし。

○小兒の頭巾は、毛絲製など、空氣の流通よく軟かきものを宜しとす。而して頭巾は戸外のみに限り、赤子と雖も決して屋内にて用ゐしむべからず。

○足袋も毛絲製にて、膝の上部まであるものを宜しとす。

○肌に着く衣服は、最も木綿を宜しとす。

○付紐を胸高に結ぶべからず。且緊しく結ぶべからず。

○衣服を着せ更ふる時、蟲などの附着せざるかを能く檢すべし。

○赤兒の大便は卵黃色にして、軟かく凝固物の無きを通例とす。

○赤兒は一晝夜に二回乃至四回の大便と、其れ以上の小便あるを通例とす。

○赤兒大小便の後は、湯にて絞りたる布にて股間を清潔に拭ひ、鉛なき白粉或は天瓜粉を撒り置くべし。

○赤兒の啼くは其原因種々あり。

一、空腹なるため
一、襁褓の穢れしため
一、腹痛のため
一、其他外界よりの刺激

啼けば何時にても空腹なる爲と思ふは間違ひなり。母親たる者は仔細に其原因に注意して、赤兒の欲する所を理解すべし。赤兒の腹痛にて啼くは、急に啼出して、手足を縮め、顔をしかめ、苦しき狀態を現はすもの。なり。又赤兒の腹部を手にて輕く押へ見るに、腹痛ならば幾らか啼き止むものとす。

大日本女學會

小松宮頼子殿下の總べさせらるゝ本會は十年來女學通信敎授に從事し本會の敎を受くる女子既に三萬人に及べり●本會の目的は女學の講義錄を發行し小學校を卒業せる女子にして種々の事情に支へられ高等女學校に入學する事を得ざる者に家庭に在りながら諸大家の講義に係る女子必須の諸學科を學修せしむるに在り●講義は平易懇到なる上に假名をふり傍訓をも加へあれば初學の人々にても了解する事を得べし●講義は嶄新高尚なる學說を平易に述べたるものなれば素養ある婦人の參考書としても極めて適切なり●講義錄に高等簡易兩科あり會費は簡易科金貳拾錢高等科金四拾錢とす

東京市麴町區

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

稟告

伏見若宮博恭王妃勳二等經子殿下
本會名譽會員に戴き奉る事となれり此段會員諸氏に披露す

愛國婦人會

○評議員會　客月廿七日第四水曜日本部樓上に於て評議員會を開けり當日はマギー女史歡迎會の催し等ありたる爲出席者尠く重要なる議案多かりしも遂に決定に至らずして散會せり

○京都支部大會　京都支部に於ては今五日知恩院に於て支部大會を開く當日は名譽會員賀陽宮妃殿下久邇宮妃殿下御臨場あらせらるゝ筈なり

○本部遊說員派遣　本部遊說員野中彌知子富樫眞喜子の二氏は去る四日青森縣下遊說の途に向ひたり同地濟み次第秋田山形の兩縣下に遊說を試むる筈なり

○東京支部幹事會　去月廿日本部に於て東京支部幹事會を開く當日の出席者は千家支部長、岩佐、飯塚、石崎、井上、岩崎、濱尾、波多野、服部、長谷川、花岡、仁尾、西澤、堀內、星野、保利、大住、渡邊、柿沼、藤井、高木、中山、中井、長田、長井、村田、羽田、山脇、柳谷、山上、松平、松崎、前川、古屋、小浦、寺井、阿部、安藤、齋藤、宮谷、淸水、仁杉、東村、平野の諸氏にて諸般の事務整理上の協議を爲せり

○マッギー女史歡迎　米國より我國赤十字社特志看護婦人會應援のため渡航し來れるマッギー女史一行は去廿二日午前八時半横濱に上陸したるを以て本會神奈川支部職員三四十名出迎ひし翌廿三日午前十時八分新橋に到着したるを以て左の職員出迎はる。九條惠子、岡部坻子、千家俊子、山脇房子、濱尾作子、鳩山春子、津田梅子、柳谷千代子、中山幸子の諸氏なり

○英國婦人へ謝狀　愛國婦人會の旨趣を贊同し去月八日九日高等商業學校に於て演藝會を催し其純益金を本會へ寄贈したるにより會長より左の通り謝狀を發せられたり

拜啓余は貴下が本會の基本金の一分として非常なる好意を以て御寄贈相成候額面貳百圓の小切手を落手せしことを報道するの榮譽を有すと考ふるに此好時機に投じて如斯義俠ある貴下の行爲は必然本會々員一同の感佩心を喚起するを誤たざるべし余は本會に代て茲に貴下の好意及貴下が今回の義捐の爲に取られたる煩勞に對して謹むで感謝の意を表す

○本會へ寄附　其後本會へ寄附されたる分左の如し

金五拾圓	京都	山田盆榮子
金五拾圓	京都	津田あい子
金百五拾圓	伯爵	前田利同
金貳百圓	東京帝國大學教授	マリーロイド夫人
金五拾圓	大阪	末永ヤス子
金五拾圓	子爵夫人	西尾明子
金壹百圓	侯爵夫人	德川良子
金五拾圓	京都	小森花子

以下の諸氏は何れも既納金を併せ五拾圓以上となりたるものなり

金三拾五圓	東京	有馬幾子
金三拾五圓	仝	小林妙子
金四拾六圓	大阪	稻畑登美子
金四拾四圓	東京	古市幸子

○寄附人名訂正　第四十八號寄附金中島根縣和田さつ子とあるは大村幾子の誤り第五十二號子爵夫人鍋島輝子とあるは子爵夫人鍋島貴子の誤りに付訂正す

○大會の時祝電　前々號に記載したる外左の各地よりも祝電ありたるにつき追加す
熊本支部長、神奈川支部長、岩手支部長、滋賀支部長、富山支部長、高知支部、福岡支部、德島支部、福井支部、沖繩支部、北海道日高西幹事、高知評議員片岡美遊子、

○各地支部の狀況

○青森支部　同支部より特に報知ありし會員入會美談の一節によれば三戶郡上長苗代村に大島竹松氏の二女ツナ子とて本年漸く十六歲の少女が學校へ通ひし餘暇にて機織をなし其の得たる金を貯蓄し居たるに愛國婦人會の主旨を傳へ聞き婦女の甲斐なき身なれども同じく帝國の臣民として奉公の萬一を報ずるは此の時なんめれと己が貯へ得たる金を以て直ちに入會し尙ほ將來とも一厘なりとも父兄より仰がず己が腕にて稼ぎ得たる金もて會費を辨せんとの意氣込みに姉のソメ子も妹の殊勝なる心掛けに感激して入會することとなり母のツル子と都合三名同家より同會員を出すに至りしと云ふ

○石川縣支部　同縣支部河北分區よりの報知によれば決議事項左の如しと云ふ

一恤兵に關する件　會員中有志者より應分の寄附金を募集し臨海軍恤兵部へ卷軸繃帶を獻納すること卷軸繃帶は婦人職員並に會員中有志者當町議事堂に集合調製すること
一會員勸誘に關する件　豫め日割を定め、幹事一名乃至二名（交互）事務員一名出張すること
一軍人慰問に關する件　出征軍人にして死亡又は傷病者ありたるときは分區長並に最寄幹事一名分區を代表し遺族等を慰問し葬儀の節は香花料金五拾錢に弔詞狀を贈ると但し該當最寄の會員は漸々會葬又は慰問すること

○大分縣支部　大分縣直入郡は廣瀨中佐の生國につき同郡竹田町にて本會員發企となり廣瀨中佐追悼會を開きたるよし尙客月十日同町豐陽館にて郡部大會を開き出席者三百人ありたりと云ふ又同縣支部にては職員協議會を大分町にて開き家族慰問の事項を協議し順番にて慰問者の人名を定めたるよし

○熊本縣支部　支部例會を去月十八日開會せり現在會員五千二百餘名に達したるよし。同縣支部にては本會より送附せし遺族の救護金交附の際各郡市役所に於て幹事立會の上交附する事に定め本會の主旨を訓示し辭令書と共に渡すを以て貰受くるものも非常に感謝を表するよし尙菊池郡大津町にては總會を開き支部よりは飯田副支部長出張非常に盛會なりしよし

○富山縣支部　富山縣射水郡佐野村四養寺に於て客月九日を以て愛國婦人會の總會を開きたるが該村にての會員は僅かに十三名の會員なりしに夫れ等の婦人等主動者と成り勸誘の結果更に五十有餘名の加入者を得たるを以て將來一層多數の增募員を得んとの目的を以て今度縣下にて有名なる本願寺派古國府勝興寺連枝土山澤映師の御裏方龜子夫人を招聘し該會の主意を徹底周知せしめんとの目的にて一場の講話を乞ひしが同一行は同日午前十時を以て會場に着し午後一時には既に滿員となり左しもに廣き堂宇も立錐の餘地なく無慮二千五百餘名と見受らる最も御裏方の同地方へ赴かせられたるは今回を以て始めての事とて一層隨喜善男善女の參聽者多かりき、やがて定刻に到るや吉岡徹氏開會の主意を演べらる次に土山御裏方愛國婦人會の主意を述べ多數の入會員を得て同心共力以て遺族者の救護に貢する必要を說きて降壇せらるゝや續きて長谷川夫人は愛國婦人會設立の主旨より說き起し時局に適切なる事柄を引證して講演せらる次に野田豐民氏等各懇篤に時局に對し講話する所ありたれば聽衆一同感に打たれ會の終りしは午後四時三十分頃なりき最後に於て村長林理八氏の音頭にて陛下初め愛國婦人會の萬歲を三唱して退散せり。

○長崎縣支部　長崎縣東彼杵郡は從來愛國婦人會々員たるものは僅かに大村聯隊將校夫人のみなりしが本年二月奧村五百子女史遊說の結果大に感動を與へ爲めに僅少期間を以て九百有余名の會員を糾合するを得たり今尙續々申込者あれば本郡中流以上の婦女子は槪して本會員たるの氣運を現はし婦人奉公の實を發揮したると共に一面には一般に質素勤儉の美風に向ひつゝあるは實に此際人意を强固ならしむるに足れりと云ふべし
右の盛況に接したるを以て取り敢えず客月廿四日を以て同縣他郡市に先だち東彼杵郡第一に本郡總會を開くに至れり今其槪況を記せば前日來降りみ降らずみの天候は朝來俄に晴模樣となりしを以て各町村の會員今や遲しと押かけ午前九時と云ふには來會するもの實に五百三十名の多きに達せり式場は大村町郡會議事堂を充て正門には大國旗を交叉し玄關には接待員整列して一々來賓に接し一の混雜を來さず式場正面には閑院宮總裁殿下の御寫眞を奉掲し傍に藤の大花瓶をしつらへいと莊嚴に整へり當日來賓の主なるものは荒川長崎縣知事冲旅團長各將校新聞記者各郡市常任幹事各町村長等七十餘名と註す席定るや一同敬禮を爲し幹事田邊サキ子式辭を讀み菊川支部長祝詞を讀み荒川本縣知事田邊本郡長交々立ちて一場の演詞を爲し閉會を告ぐ夫より一同は兼て用意しある舊大村城址の風光最も明媚なる玖島崎の庭園に園遊會を催す同所は琴湖の盆水に臨み近く臼島箕島を控へ漁舟の行かふ樣さながら一幅の山水畫に異ならず生憎當日は春雨瀟々と降りしきりたれども出征軍人の苦を思へは何の其との意氣込みにて荒川知事冲旅團長各將校始め貴婦人令孃ひし〱と押かけたり舊城櫻馬場の遲櫻は春雨に名殘を惜み傘上には時ならぬ雪を戴き足に殘雪を踏むの趣ありて時に取りての一興なりき設けの場に到れば幔幕を張り詰めたるすし屋うどん屋田樂　茶店牡丹餅ビール店菓子屋菓實店等の松の間にちら〱隱見し各店には夫々貴夫人令孃各係詰頭に扮し居ツしやいの妙音此處彼處に聞へ主賓三三五五思ひ〱に組をなして諸々の意匠を凝てつゝ笑ひ興じ十分の歡を盡せり餘興には學校上りの妙齡の會員時宜に適したる遊戲をなして大に喝采を博したり

時事唱詠

故廣瀨海軍中佐の忠烈に感じて　男爵　高崎正風

七かへり生れかはりて國のあだ
うたてはやまじやまと魂

あたの船みなしづめずばめをとぢて
君は瞑らじ息はたえても

制海權　坂正臣

みいくさは心にさはるものもあらじ
はてなき海をわがものにして

同　大口鯛二

あだ浪の跡を收めし海原に
あふるゝものは御稜威なりけり

加藤義清

あたの船ゆきかふ道やなかるらん
あさ日のみはた海をおほひて

忍賜義手義足　坂正臣

身をすてゝむくいまつらん足のさき
手の末までもかゝるみめぐみ

同　大口鯛二

たらちねのおやにうけたる手足より
たふとかりけりこの賜物は

みめぐみの身にしあまれば失ひし
手足も惜しと思はざるらん

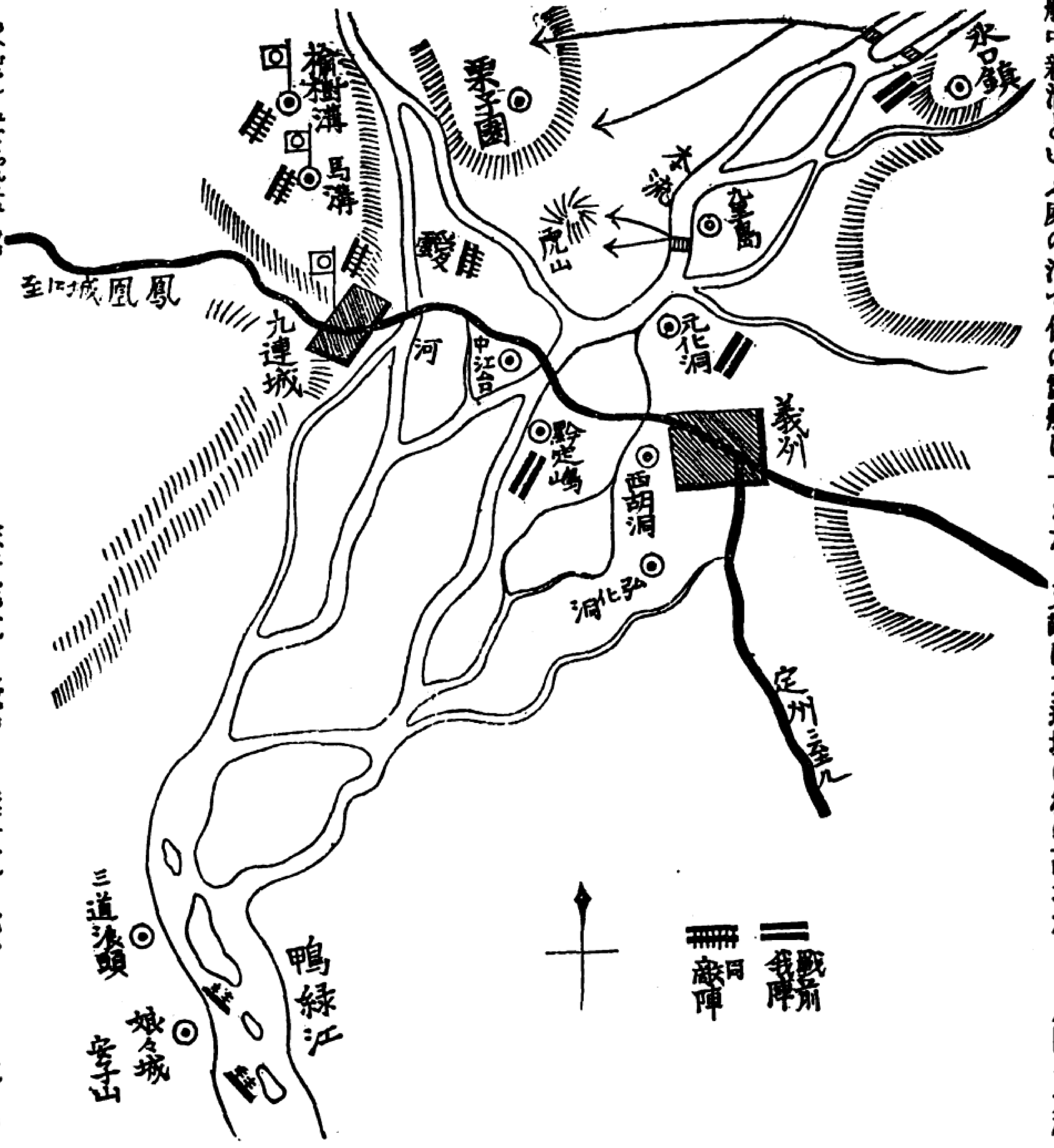
大日本女學會
講義錄を發行し小學校を卒業せる女子にして種々の事情に支へられ高等女學校に入學する事を得ざる者に家庭にありながら大家の講義に係る女子必須の諸學科を學修せしむるに在り●講義は懇到なる上に假名をふり傍訓をも加へあれば初學の人々にても了解する事を得べし●講義は嶄新高尙なる學說を平易に述べたるものなれば素養ある婦人の參考書としても極めて適切なり●講義錄に高等簡易兩科あり會費は簡易科金貳拾錢高等科金四拾錢とす●はがきにて申込あれば直に詳細なる會則を呈す
東京市麴町區下二番町三十七番地（電話番町一三三〇）
大日本女學會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰報

金州丸の不運

浦鹽に潜んで居ッた敵の四巡洋艦は去にし四月廿五日韓國元山津に來り無法にも我商船五洋丸を水雷で擊沈して又運漕船金州丸は第四師團の陸兵一中隊を載せて元山より同じく韓國の利原に到り任務を了へて歸航中新浦といふ處の沖で件の露艦に遭ひ監督海軍將校船長等は露艦に赴いたまゝ返らず忽ち敵より水雷を打かけ金州丸は二つに裂けた陸兵は大切な書類を破り肩章をなくし敵艦に向ッて最後の射擊を爲し沈沒の際陛下の萬歳を唱へ悠然死に就いたに壯烈凄愴たる最後を遂げたのである此金州丸には水雷艇の護衛もあッたのに天候險惡の爲に別れ〳〵となり又第二艦隊も上村司令官之を率ゐて二十三日に元山を出て、浦鹽沖迄進航せしも甚しき濃霧の爲に敵艦を認め得ず且つ金州丸の厄を知らざりしは返す〳〵も遺憾の事であッた別して其監督將校たる海軍少佐溝口武五郎氏は我愛國婦人會の相談役として兼てより我會に盡瘁されつゝある人なるに敵艦に赴きしまゝ消息を失ひしは會員方と共に心痛に堪へざる處である。氏は舊越後新發田藩主溝口伯爵の令弟にして夫人郁子氏は芝區三田綱町の留守邸を守りつゝありと云ふ。



鴨綠江の陸戰大捷（地圖參照）

○四月廿六日朝鴨綠江に橋を架ける爲に、近衛師團の一部を以て九里島の敵を擊退けて此處を占領し、又第二師團の一部を以て黔定島を占領した敵は悉く九連城の方角に敗けて退いた。此戰に近衛師團には多少の死傷があッた。第二師團は死傷がなかッた敵が少からぬ死傷者を運び去るのが見えた。又敵は九連城の後の高地から、八門の大砲て西胡洞邊を射擊し、又虎山の高地から二門の機關砲を擊出した。元化洞の高地に在る我砲兵一中隊は虎山の高地に現はれた敵の高等司令部らしき者に對して三回の齊射を行ッた。此日の正午頃から九連城の砲兵は義州邊を砲擊し、

○廿七八日も時々砲擊した。敵は靉河の向ふ側に沿うた九連城の北地に防戰の工事を此程から續けて居る。

○廿八日に近衛步兵第四聯隊の二中隊は偵察の爲に虎山に到り、更に一小隊を栗子園に派遣した、其時敵三十名許り此村の南端を防禦したが、我兵之を擊ちたれば死者を五名遺して遁げた。此時敵は楡樹溝の砲臺からも砲擊したが、我に損害を及ぼさなかッた九連城邊の敵の砲兵は晝夜とも時々大角度の射擊を行ッて、九里島義州西胡洞弘北洞邊へ其彈丸が落ちた。是れが我架橋など攻擊準備の仕事を妨げる目的であらうが、其効力は概して微弱であッた。

○二十九日第十二師團は水口鎭の前岸に在る敵を擊拂ッて、午後二時から橋を架け始め、

○三十日の午前三時に架橋が完成して、續いて河を渡ッて、午後六時に豫定の陣地に就いた。野戰砲兵第二聯隊と重砲兵聯隊は未明迄に豫定の陣地に就いて、午前十時四十分黔定島から中江臺に出した我步兵斥候に對し、九連城の北と南との高地に在る敵の砲兵が射擊したのを端緒として、猛烈な砲戰を開いた、午前十一時十五分九連城の敵砲は沈默した。馬溝東方高地の敵砲八門は九里島の架橋點に射擊を續けた。義州東方の近衛砲兵之に應じ、十分許で敵砲は亦沈默したが、零時半西方の敵方再び射擊を始めた、是も午後一時廿分頃再び沈默した、我砲擊の結果は敵に十分な損害を與へたものと認める。我軍の損害は將校五人輕傷下士以下戰死二人負傷二十二人であッた、鴨綠江本流の架橋は午後八時に完成し、諸隊は續々虎山北方の高地に前進した。

○五月一日拂曉我全軍の開展約二里の延長に及び猛進して靉河を徒渉りし、敵の頑強なる抵抗を突き午前八時五十分敵壘七箇處を陷し砲八門を分捕し九連城に入ッた。

敵は九連城西北高地で再び抵抗を試みたが、午後一時五十分から退却を始めた、我軍は追擊して三面より包圍し、激戰の後、砲廿門將校廿餘名、下士卒多數を捕虜にし、其他小銃や彈藥等多數の戰利品を得た我軍の死傷は多くも將校以下七百人に過ぎまい。敵の死傷は八百以上と云ふとである。殊に敵は軍團長も師團長も負傷したと云ふ午後五時卅分に我軍司令部は九連城に到ッた、軍隊の士氣大に振ふ。

此陸戰中海軍も亦宇治摩耶の二砲艦と二水雷艇裝砲汽船を鴨綠江口より溯らしめ娘々城安子山安東縣下流等にて敵と砲火を交へ、激鬪して敵軍を牽制した、

此戰は敵に於ても最も大切なる場所であるから其の兵數も三万五千に及び殊に敵兵中の精銳をすぐッたものであらうといふことである我軍は前に鴨綠江といふ大障碍物を控へて形勝の地に據れる敵を攻擊するといふ不利益の戰なるにも拘らず此大捷を奏して陸戰上一大生面を開きたるは宇内の驚嘆する所であらう

○報國勤儉組合　秋田縣に於ては此際勤儉力行の風を養はんが爲に町村に組合を設け左の廉々の規約を結びたりと云ふ

一　日常の生活は虚飾を去り質素を旨とすること
二　時間を利用し休息時間は可成之を減省すること
三　休日は可成之を廢し祭典法要等已むを得ざる場合は他の休日に於て之れ施行すべきこと
四　冠婚喪祭は勉めて禮儀を重んじ費用を節省すること
五　饗宴贈答は已むを得ざるもの丶外一切之を廢止すること
六　組合員は本業の餘暇に於て工藝飼育栽培天産物の採取其の他の副業に從事すること
七　組合員は德義を主として信用を重んじ利益善行は相互に之を助長し災厄は之を救濟するを旨とすること
八　組合員は公共必要の事業に對しては應分の出資に吝ならざるべし

艱苦力行副業奬勵勤儉貯蓄は今日の急務なり我が四千五百万の同胞各一日僅々一錢の餘資を蓄積せば初年は一億六千万圓を得五年にして利子を併せ九億万に達すべし英國人の貯蓄高は十七億圓あり日本より二十四倍なりと云ふ、此際地方の町村に於ても一層勤儉を要す。

○女子裸體問題　往年英國倫敦にては巡査が少女の脛を檢査せりとて物議起り遂に警視總官迄辭職したる事さへあるが、我國にて目下岡山福島埼玉の三縣下に於て女子裸躰問題生ぜり新聞紙の傳ふる所によれば其事實左の如し

岡山縣下の分は知事の令孃が學校にて金員紛失せしとの申出により校長が女生徒を裸體にして探索したりと云ふにあり福島縣の分は體格檢査の際裸體にしたりといふにあり又最近の埼玉縣の分は同く裸體にして身體檢査を執行したりと云ふにあり

一度ならず二度ならず三度まで全國にて婦人がかゝる恥しめを受けたるは婦人界の恥辱とも云ふべきか、而も教育社界の人々が斯く不法の行爲を行ふに至ッては其罪斷じて許すべからざるなり。

○大日本婦人衞生會　同會にては事務所を麴町飯田町六丁目三番地に移轉し五月七日には女子職業學校に於て島田三郞中濱醫學博士の講演會を開くよしなり

○大日本女子教育會　文學士下田次郎氏の主幹せる同會は第一回婦人講演會を來る十五日午後一時より神田小川町小學校內（樫村病院の向ひ）に於て開會するよし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本器は清潔且美麗木蓋附き手輕實用品なり

（專賣小兒等オマル）

衛生便器

改良樋箱

高輪御用邸にて多數の御用を蒙れり

第五回內國勸業博覽會賞牌受領

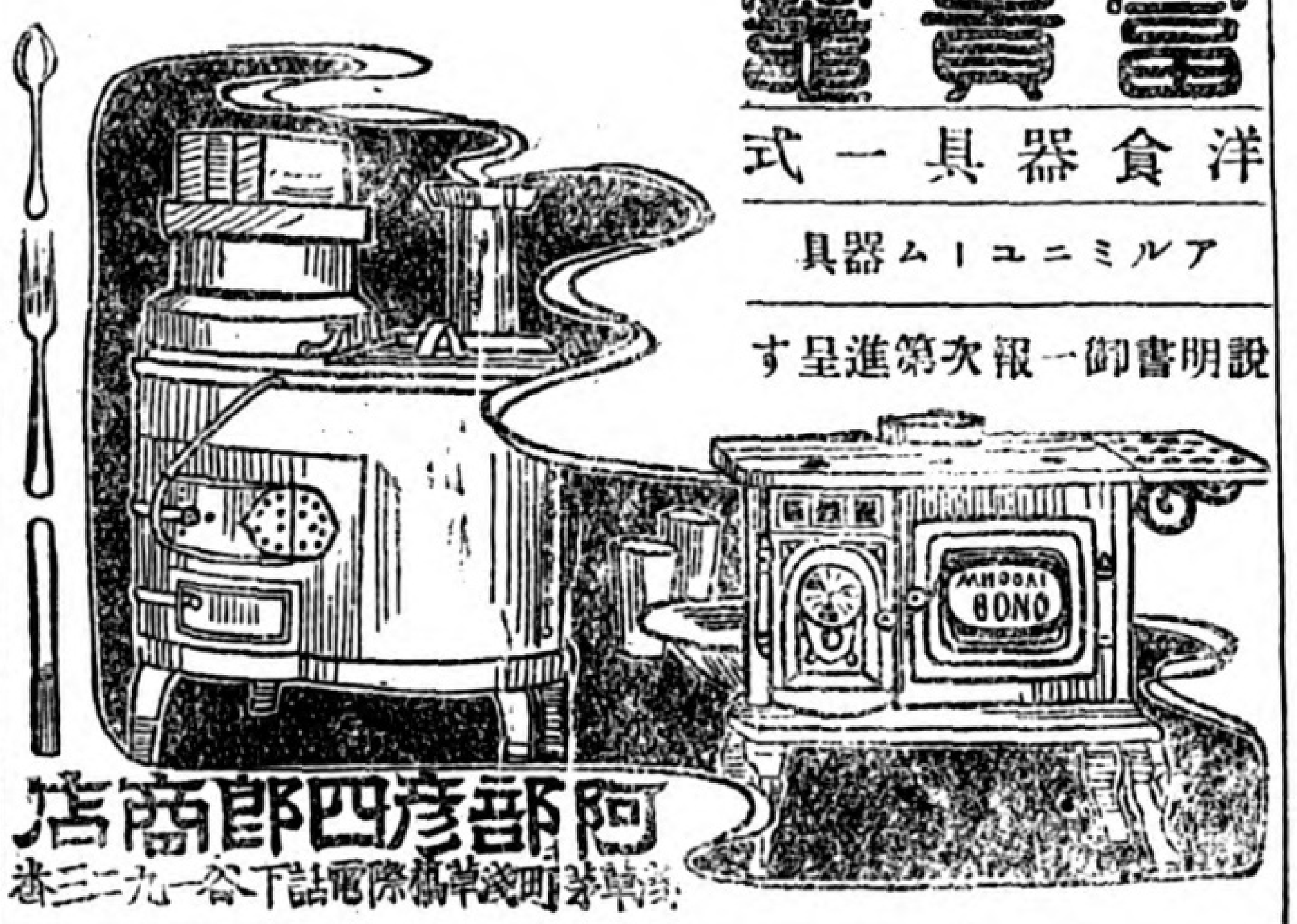
新炭兩用〇專賣特許

富貴竈

洋食器具一式

アルミニユーム器具

說明書御一報次第進呈す

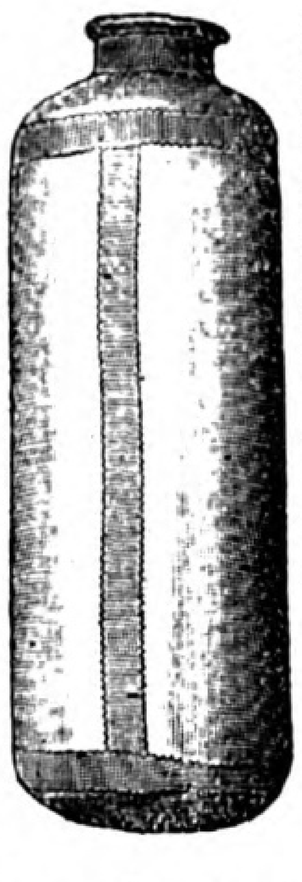


阿部彥四郎商店

淺草區淺草橋際電話下谷一九二三番

新形護謨氷枕

代價一個金四圓也



本品は水及氷塊を入るべき最新工夫にして殊に眞正の

ゴム製なるが故に空氣枕及湯タンポに代用すべく旅行に携帶して至便の具なり▲東京大阪其他全國各醫科器械店に販賣す▼▲東京市日本橋區本町三丁目玉屋支店

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り　電話新橋一六八

本鄉一丁目　本鄉支店
飯倉町一丁目　飯倉支店
赤坂一ツ木町　赤坂支店
四谷大通り　四谷支店
品川南品川宿一丁目　品川支店
横濱吉田町　横濱支店

牛込神樂坂　神樂坂支店
神田須田町　須田町支店
兩國米澤町　米澤町支店
淺草吾妻橋　吾妻橋支店

代理店　日本橋坂本町　田中銀行

◎一錢以上何程にても御預り致し御便利に取扱申候
◎每月貯金の御預け金は金一円ずつ利子を附け申候

たんせき　一と通の妙藥

藥價
二日分五錢
五日分十錢
十日分二十錢

藥の信用は●効能の確實にあり●

めぐすり

天下一品　精錡水

本家岸浪長藏

東京日本橋區村松町十三番地

賣捌所全國至る所の藥舖賣藥店にあり

養生第一

めぐすりするとめのおやとつよくすることが妙なり

大小兩瓶共に定價金五錢なり效驗最ても〇〇

代理店　神田松枝町　福井甚藏

家庭之友

定價五錢　郵稅五厘　一分一年二十冊　郵稅共前金六十錢　見本郵券六錢

第二卷第一號　四月三日發行　要目

男女結婚の資格　ガントレット夫人

（其一）　村井知至
（其二）　寺田勇吉
（其三）　佐治實然
（其四）　農學士原
草花の話
出產の支度と產後の注意　ドクトル森永友健
育兒問答ジフテリヤ看護法、小兒の食物等　井上友子
家間問答會計豫算表五種　記者
家庭料理　宇山錄子
小兒西洋服仕立方　コーツ夫人
●多摩河畔より（大下藤次郎）
保存の注意●社會百方面●本誌の家具
誕生日●戰爭雜感●編輯記事等

販元　東京神田區甲賀町八番地　內外出版協會

袴乃親玉

本店卸部　東京日本橋區長谷川町貳番地　美濃礎本店

電話浪花二八五九
電略ミイリ

小賣部

本鄉區本郷三丁目五　電話下谷四一五　美濃礎本御支店

淺草區茶町一丁目　美濃礎淺草支店

芝區新堀田町九番地　小田商店

神田區表神保町三丁目八　伊澤商店

深川區佐賀町一丁目　伊澤支店

編輯主任　女子高等師範學校教授　下田次郎氏

大日本女子教育會機關雜誌

女子教育

第三號　五月一日發行

定價金拾五錢

女子教育家唯一の伴侶

發行所　神田錦町一丁目　明治書院

院長　醫學博士榊順次郎
副院長　醫學士久保德太郎
每日午前診察　每日夕刻診察

婦人科產科榊病院

東京麴町三番町卅三（電話番町三九五）

產婆學新學期　通學生募集

產科婦人科　楠田病院

東京日本橋區濱町三丁目七

●水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

小兒婦人科專門　西川醫院

本所區綠町一丁目卅一番地　南わり下水際

電話浪花三千七十三番

◎最新良法◎◎◎

るゐれき　切開を要せず　して根治す

心臟病　脚氣　專門

千葉內科院

神田區三崎町三の一　西通り二十五

看護婦の需に應ず

東京看護婦協會

神田區錦町參、貮、（電本三三一四）

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢
一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして清血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたツぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●〇〇南まけづつう目まひによし〇ふるちとゝこほり〇〇ながち〇しちち〇手あしゝびれ〇〇血しやく〇ひゑるときさししみいたむに功あり〇〇むねこしいたみ〇つぎむしによし〇さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり〇さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり〇猶能書にくわしくしるす

本家製藥所　東京市本所區東兩國橫網町一丁目

御取次所　伊勢吉本店

（電話浪花二一七五八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十七年五月五日發行(每月五日二十日二回)

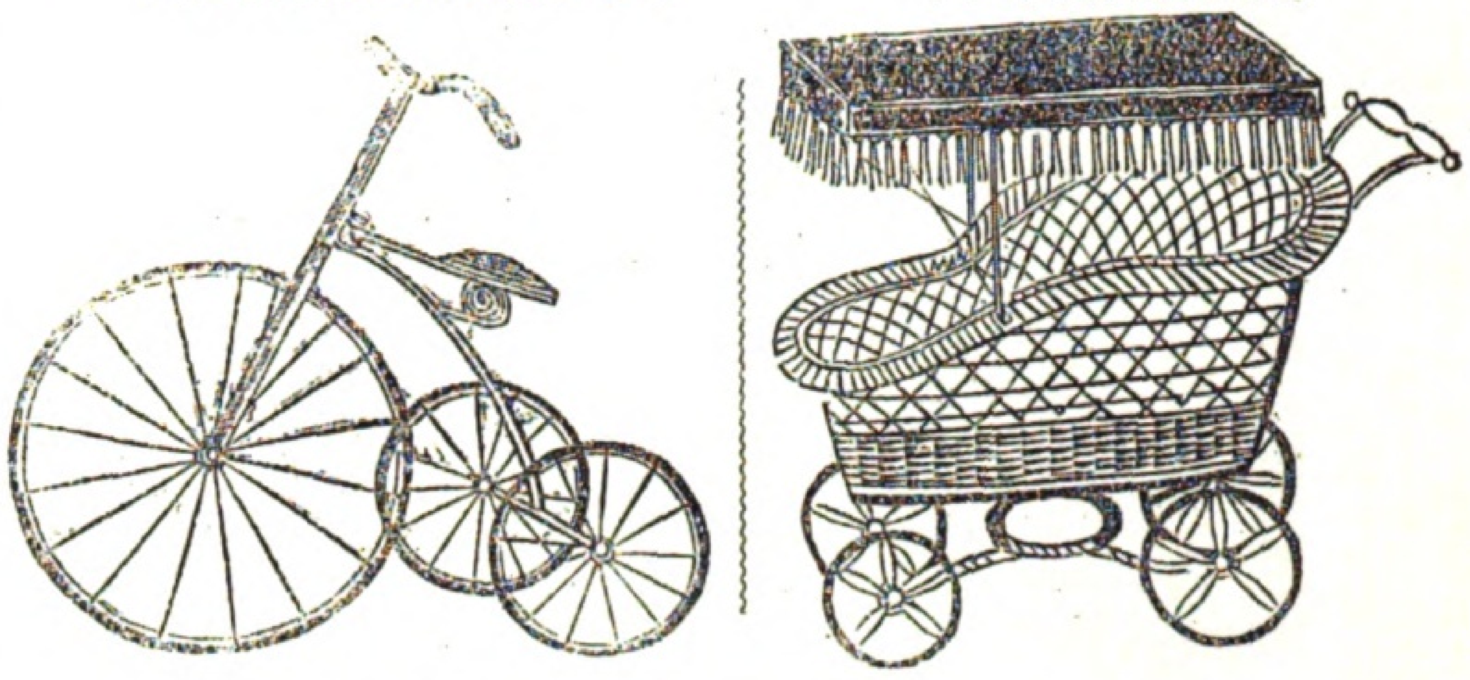
◎特約販賣店

◎東京堂　神田表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

第五回博覽會三等賞牌及褒狀受領

(高尚優美乳母車)(少年運動用三輪自轉車)



丸藤直輸入藤細工問屋大阪屋本店

無比德用 御敷物 籐莚製造元 小菅恭太郎

東京日本橋區横山町三丁目角・電話浪花二二一八番

從四位淺田宗伯先生直傳 淺田飴

良藥にして口に甘し

だんせきに淺田飴

すきはらに空腹にめし

定價 金五拾錢 金參拾錢 金貳拾錢 金拾錢

本家 東京神田鍛冶町 大阪北久寶寺町 堀内伊太郎

日本全國到る處の藥店に取賣す

無類 クイーン白粉

艶美 クイーン水

本舗 日本橋區新和泉町 花陽堂

三ツ牛ゑり帶揚

全勝近く目前に有 薄利で安く賣可し

各位方富國請合大意に買給ふべし金の廻りよろし
○新案帶どめ日本締め一名露國占め○絞り形襟飾
○縮緬ショール安賣○京御召前掛○帛紗○下締め
○嶄新柄帶片側地○絞り形しごき地○巾着○誕掛
○雀形○ゑり治形○まげ入受賞紀念形おろし小賣
○高等洗粉 チエリー 麝香入 顔肌美白 發賣元本舗

新橋竹川町十二番地 電話二〇二七 ゑり治 本店

神田表神保町壹番地 電話本局九五二 ゑり治 支店

戰勝紀念おびどめ 日本志女 嶄新考案

ゑり善

日本橋區通…電話浪花千貳百七十番

ゑり八

神田區表神保町一 電話本局二八五三番

西京染

御半襟類 品々 帶かは帶あげ 其外染ものしをり品々

京橋區銀座參、九 電話新橋(三六八六) 柴崎圓

紳士貴婦人用 高等香油 チエリーオイル

大八十五錢 中四十五錢 小二十五錢

東京日本橋區本町二丁目 高橋初次郎

●最も束髮用として適當の香油なり

壽美花おしろい グワイラレット製

定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢

定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶五錢

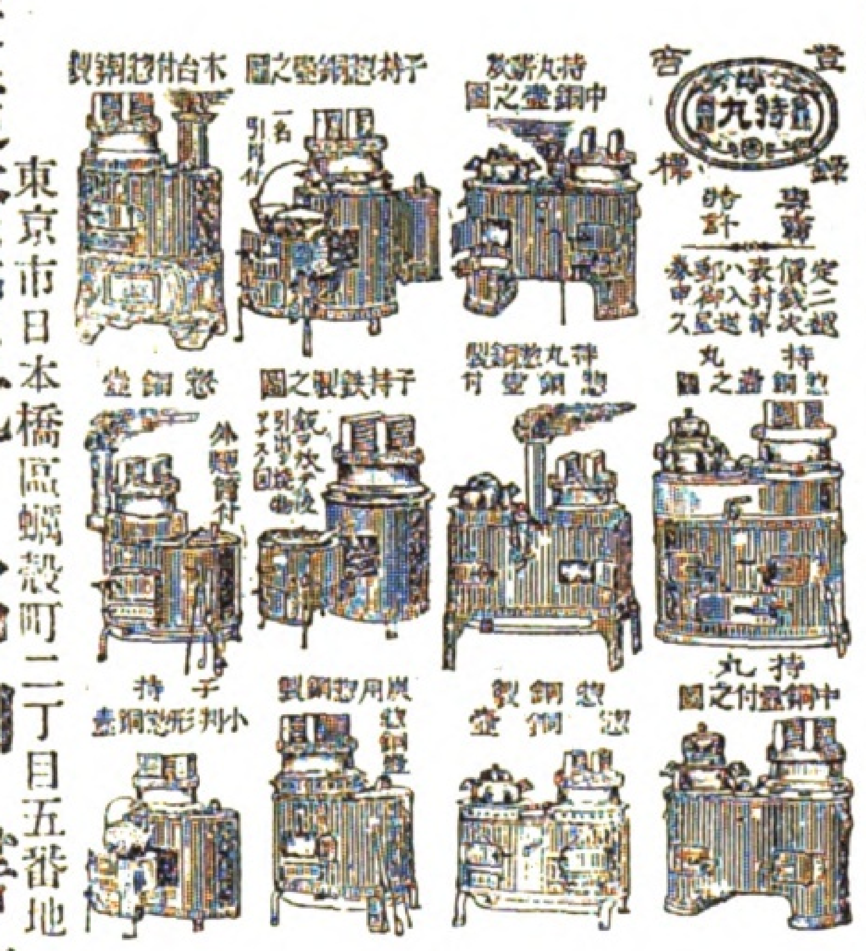
西洋色白くなる洗粉 壽美花あらひ粉

定價綠藍紅彩蝶形袋詰六錢五厘ホックス入三錢袋入壹錢

東京兩國 伊勢吉 壽美花社

麝香獸印 ムスク香水

本石町四 芳香藥種問屋 松澤商店



製造發賣元 名和書店 東京市日本橋區蠣殼町二丁目五番地(電話浪花千百七十七)

名和支店 東京市神田區松永町十八番地

京都帝國大學講師 谷本富先生新著

忠勇義烈 戰時讀本

●洋裝美製全一冊 ●總數三百七十頁 ●定價金八十五錢 ●送料不要 郵券代用不苦 ●十部以上一割引

戰爭雜誌の類續出雨後の筍の如し●未だ一も眞成に士氣を修養し特に軍國博愛の大道を敎誨すべき良著あらず●谷本先生は我が國敎育界の泰斗にして曾て高等師範學校敎授兼文部省視學官たり今現に京都大學に在り文科大學の經營に從事せらる●曩に多年海外に遊學し徐に時勢の變遷と國民敎育の方法とを研究せられ今度斯書を著はさる●先生は家族共に早く赤十字正社員たり本書の序文にも『此際は唯た國民擧りて赤十字の美擧を贊助せんとを切望す』の語あり●一篇三百餘頁極意は全く軍國博愛の大道を發揮せる者也●愛國婦人會員赤十字社員を始め看護婦會員恤兵會員の紳士淑女は皆必ず一本を購讀せられ以て自修の方便とし子女敎導の材料となされたし

●發行所 東京市京橋區南傳馬町二ノ五 目黑書店

婦人最良藥

子宮病血の道 產前、產後の諸症に種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●如何なる難病も二三週間に全治す

◎詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三週り一圓二十五錢

●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗 東京日本橋通四丁目 津村順天堂 大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

廣告取扱

神田區千代田町 博報堂

京橋區尾張町 弘報堂

京橋區南鍛冶町 一星社

日本橋區上槇町 萬年社

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 大日本女學會内

印刷所 東京市牛込區市ケ谷加賀町一丁目十二番地株式會社秀英舍第一工場

愛國婦人第五十三號附錄

明治三十七年五月五日發行（每月五日二十日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

名譽會員 伏見若宮妃勳二等經子殿下

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN